

実 践 日 本 史	55 分授業	単位数	3	時間数	1 0 5
-----------	--------	-----	---	-----	-------

1. 学習の到達目標

学習の到達目標	(1) 特に19世紀以降の世界史的な観点から、現在につながる国際社会の中での日本の歴史を理解する。【知識・技能】 (2) 近現代における基本的な知識をもとに、様々な歴史的事象についてその経緯などを考え、その事象が及ぼした影響について考察できるようにする。【思考力・判断力・表現力】 (3) 歴史的な観点から、現代の国際社会における諸課題を主体的に解決しようとする態度を養う。【主体的に学習に取り組む態度】
使用教科書・副教材 等	『詳説日本史 日本史探究』(山川出版社) 『最新日本史図表』(第一学習社) 『日本史用語集』(山川出版社) 『新日本史要点ノート』(啓隆社)

2. 学習計画および評価方法

学 期	学 習 内 容	月	学 習 の ね ら い	時数
1 学 期 32h	1. 明治・大正時代の国際関係	4 5	学習方法、探究活動の進め方、課題、評価の仕方についての指導。 19世紀における日本を含めた東アジアと列強の関係について、諸資料を活用し、課題を追及したり解決に向け考察したりする活動を通して、次の事項を身につける。・日清戦争・日露戦争が起こる背景を、朝鮮半島、中国大陸との関係で理解する。【知識・技能】 ・第1次大戦前後の日本の国際的立ち位置について理解する。 (36時間)	35
	2. 大正・昭和初期の国際関係	6		
	【知識・技能】 ② 定期考査（80%）…概念や理論の名称や内容など、基本的な知識について扱う部分を評価の対象とする。 ②提出物（20%）…資料から情報を読み取り、まとめる提出物を課し、内容や提出状況を評価の対象とする。			
	【思考・判断・表現】 ①定期考査(80%)…概念や理論を用いて考察・論述する問題や、複数の資料から考察したり判断したりする問題を課し評価の対象とする。 ②レポート又はプレゼンテーション(20%)…政治・経済の諸課題について考察し、まとめる活動を評価の対象とする。			
	【主体的に学習に取り組む態度】 ①提出物(40%)…締切までに提出できたか、やり残しなどの漏れがないか等を評価の対象とする。 ②自己評価(20%)…学期末に行う授業に対する取り組みについての自己評価を評価の対象とする。 ③課題又はプレゼンテーション（40%）…課題の内容や提出状況、発表活動の内容などを評価の対象とする。			
	【1学期の評価方法】 「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に取り組む態度」をそれぞれ数値化する。その際、各観点を40%：40%：20%の割合で総括し、10段階評定とする。			
2 学 期 40h	4. 第2次大戦前後の国際関係	7 8 9	・第2次世界大戦が起こる経緯について理解する。 ・冷戦の構造を理解する（29時間）	[中間考査] 昭和前期
	5. 20世紀後半の国際関係	10 11	・冷静構造の変化や多極化の動きを理解する。 ・冷戦終結の背景などを理解する（20時間）	[期末考査] 昭和後期
	【知識・技能】 1学期と同様			
	【思考・判断・表現】 1学期と同様			
	【主体的に学習に取り組む態度】 1学期と同様			
	【2学期の評価方法】 1学期と同様			
3	6. 現在の国際問題	12	現代の国際問題について、過去の歴史を	[期末考査]

学期		1 2	振り返りながら考察する。（20 時間）	平成
24h	【知識・技能】 1 学期と同様			
	【思考・判断・表現】 1 学期と同様			
	【主体的に学習に取り組む態度】 1 学期と同様			
	【2 学期の評価方法】 1 学期と同様			
[年間の学習状況の評価方法] 定期考査等				

3. 学習方法の要点

- 小テストの繰り返しによって知識の定着度を高める。
- 何度も教科書を熟読して文脈で記憶する。
- 重要だと思われるところは，自分でノートをつくり後で何度も見直して覚える。
- 授業中，先生に指摘された教科書・史料集・図表などの箇所にしるしをつけ，あとで見直す。
- 復習を中心にする。その際授業のなかで触れられなかった図表や史料にも必ず目を通す。
- 大学入試のテスト範囲は，教科書・史料・図表などの教材すべてである。